

木造住宅等普及促進事業

目的

豊かな岡山の森林を造成し、森林資源を有効活用するためには、適正な森林の管理・保全とともに、そこから生産される県産材の需要拡大が重要な課題となっています。

そこで、建築用木材需要の大半を占める住宅建築において、木造住宅の普及と県産森林認証材を用いた乾燥材やJAS製品の利用を促進します。

また、消費者が求める製品を的確に把握し、ニーズに対応した県産材を供給するため、供給する製品の品質等に関する情報を木材関係事業者と住宅関連事業者が共有し、県産材の需要拡大に向けて相互に連携・協力する体制づくり等を支援します。

令和6年度事業概要

1 事業内容

(1) おかやまの木で家づくり支援事業

県産森林認証材を用いた乾燥材やJAS製品を使用して新築する住宅・民間非住宅建築物や既存住宅を改修する施工業者に対し、材料費の一部を支援

(2) 県産材を使った快適木の家づくりサプライチェーンの活動支援事業

製材工場やプレカット工場等の木材関係事業者と設計士や工務店等の住宅関連事業者の連携した県産材が消費者に届くまでのプロセスに繋がりを持たせたサプライチェーンの構築とその活動を支援

(3) 県産材サポーターの養成

住宅等への県産材の利用相談等に対応できる人材（県産材サポーター）の養成

2 事業主体 (1) (2) (一社)岡山県木材組合連合会
(3) 県(委託)

3 補助率 (1) (2) 定額

4 令和6年度 おかやま森づくり県民税充当額
102,240千円

おかやまの木で家づくり支援事業	99,300千円
県産材を使った快適木の家づくりサプライチェーンの活動支援事業	2,500千円
県産材サポーターの養成	440千円

